

大阪損保革新懇 ニュース

NO. 76
2006・6・20

大阪損保革新懇事務局

大阪市中央区道修町三の三の十

大阪屋道修町ビル3F 06663

ブックレット『私たちも憲法改悪に反対します』 —世界と日本の平和と損害保険産業—

近く刊

三月以来、大阪損保革新懇『ブックレット』編集委員会が進めてきたブックレットの編集作業は、開催したシンポジウムの内容を第三部に収録する最終原稿も確定し、印刷発注をおこないました。七月初旬には納品される予定で、それ以降みんなで職場・友人・知人への普及活動のとりくみを展開。五年前発行した『損保の未来』は編集・大阪損保革新懇でしたが、今回は次の十四組織の連名で表紙です。

編集・発行 大阪損保革新懇 協賛 あいおい損保革新懇 秋田金融革新懇 損保新潟革新懇 石川懇 香川損保革新懇 愛媛金融革新懇 広島損保有志の会 損保九条の会 宮城金融損保九条の会 保九条の会 などや損保九条の会 福岡損保九条の会 札幌損保九条の会 準備会

目次は

- 第一部 『平和憲法は世界の誇り』 講師 品川正治氏
- 『日本の国家目標と平和憲法』
 - 『九条を守りきれば 世界史が変わる』
 - 『二十一世紀 損保産業の役割』
- 第二部 損保産業の現状を考える — 損保自由化はなにをもたらしたか —
- 損保自由化、この十年間の歩みをふりかえる
 - 損保の統合・合併はなにをもたらしたか
 - どうなる損保の明日 労働者・代理店のリストラ二辺倒で
 - 人員削減と雇用多様化
 - 賃金合理化策と成果型賃金体系の導入と裁量労働制範囲の拡大
 - 人員・平均賃金・人件費総額・一人当たり人件費を比較する
 - 歩合給労働者に対する合理化攻撃
 - 代理店の大幅削減と代理店手数料の削減
- 第三部 シンポジウム報告『いま、損保の職場はどうなっているか』と私たちの提言
- 基調報告 阪南大学校田教授
 - 職場からの報告
 - ミレア、損保ジャパン、三井住友、日本興亜、日新の五人の仲間の報告と決意
 - 私たちの提言
 - (Ⅰ) 損保産業は健全性をとりもどし、社会公共性役割の発揮を
 - (Ⅱ) 損保産業は平和産業です。私たちも憲法改悪に反対します

2006年6月13日 大阪損保革新懇シンポジウム



装丁はA五版、横組み、カラー五ページ、全五十ページで、『損保産業の現在と未来を考える』にふさわしい内容になっていると確信します。

初版は五千部を発売しました。各地の協賛組織は二千部、大阪は三千部の普及活動を成功させることを確認しています。大阪の各職場革新懇では三千部をやりきるための細かな取り組みの討議が始っています。率直に言つて大変ですが、みんなやりきろうと盛り上がり始めています。会員一人一人が職場をはじめ友人知人に1部ずつ呼びかけていく運動をどう広げていくかが基本です。世話人会しても全力で奮闘する決意です。会員・OB会員・イベント参加していただいたみなさんのご協力をお願いします。